



平成 29 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社パシフィックネット
代表者名 代表取締役 上田 満弘
(コード番号 3021 東証二部)
問合せ先 取締役副社長 大江 正巳
(電話番号 03-5730-1442)

中期経営計画「VISION 2018」の見直しに関するお知らせ

当社は、平成27年7月15日に公表いたしました中期経営計画（平成28年5月期～平成30年5月期）について、以下の通り見直すことを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの理由

中期経営計画の重要な目的の一つであるストック収益拡大については、これに該当するレンタル・ITサービスの売上高が、中期経営計画開始直前の平成27年5月期に比べ、2年で約1.5倍に拡大し、全社売上に占める構成比でも16%から24%となる等、一定の成果が出ております。

一方、本日開示の平成29年5月期決算短信のとおり、市場回復の遅れやコスト構造等見直しのための諸費用計上により平成29年5月期は計画未達となりました。また、中期経営計画の最終年度である平成30年5月期については、市場回復するも、その貢献度を見積もることが難しく、その他の不確定要素もあり、合理的な予想は困難な状況にあるため、業績予想を非開示としております。以上から、中期経営計画の見直しを行うこととしたものです。

2. 見直し後の内容

(1) 中期経営計画「VISION 2018」の目的（変更ありません）

「持続的成長・高い収益性を可能とする新たな事業モデルへのステップ」

(2) 基本戦略（変更ありません）

市場変化への適応、事業間の相乗効果の拡大、競争優位の強化、付帯事業の展開を着実に進めます。また技術革新や市場変化に対応した新たなリユース市場・レンタル市場の創出・拡大を推進いたします。さらに、リユース拡大による循環型経済（※1）への貢献を進めてまいります。

(3) 事業モデル（変更ありません）

機器の導入・保守運用から使用済み機器の処分・再利用までをトータルにカバーするLCM（ライフサイクルマネジメント※）を事業ドメインに設定します。その中で特に、導入・保守運用サービスに該当するレンタル・ITサービスを強化することにより、将来収益の源泉であるストック収益を拡大するとともに、リユースとの相乗効果の拡大を図ります。

※LCM（ライフサイクル・マネジメント）・・・PC、タブレット、スマートフォン、サーバー等のIT資産を導入・運用から廃棄まで管理する仕組み。

(4) 連結業績の予想・目標

前記1のとおり、平成30年5月期については、合理的な予想は困難と判断し、業績予想を非開示といたしました。合理的な予測が可能となった段階で速やかに開示いたします。

以上